

市民活動サポートセンター いなぎ

# ニュースレター

No.38

2012.2.20

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2-112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

ハッピー  
リタイアメント  
講座 ⑪

地域があなたを待っている



講師の松本さん

～はじめの一步を踏み出してみませんか～

■ 日時/3月17日(土) 13:30~16:00

■ 会場/稲城市地域振興プラザ 4階

【第1部 講演】「定年後は地域デビューから」

◎ 講師/松本 すみ子氏

※シニアライフアドバイザー

【第2部 活動体験談】

寺田 博之さん(みどりクラブゆうわ会)

遠田 智慧子さん(ふれあいセンター平尾)

伊東 佑文さん(サルビアの会)

【第3部 活動場所の紹介と交流会】

(市民・市職員合同研修)

市民公開講座

～いまなぜ協働のまちづくりなのか～

## 豊かさを育む 持続可能な地域づくりに向けて



今回は地方自治に詳しく、また様々な形で行政にも関わっておられる辻山幸宣さんをお招きし、協働のまちづくりについて学びます。

■ 講師/辻山 幸宣氏

※公益財団法人地方自治総合研究所 所長

中央大学大学院客員教授

■ 日時/3月1日(木) 13:30

■ 会場/稲城市地域振興プラザ 4階

※講演のあと、短時間のグループ討議を予定しています。

◎申込み・問合せ/市民活動サポートセンター(協働推進課内) ☎042-378-2112

## ●「いなぎ市民活動フォーラム2011」の結果報告

# 市民と行政による協働のまちづくりに向け 活発な論議が交わされました

2011年12月17日に、地域振興プラザで「いなぎ市民活動フォーラム2011」が開催されました。

参加者数は計58名、行政からも市長以下18名の参加があり、「住みよいまち 稲城をつくろう」をテーマに活発な意見交換がなされました。

以下、そこで交わされた議論の内容を要約して報告させていただきます。  
(文責：小林)



◀コーディネーターの安藤さん

### 第1部 パネルディスカッション

第1部は、調布市市民活動支援センター長の安藤雄太さんをコーディネーターとしてお招きしてのパネルディスカッションでした。

パネリストは押立自治会「押立かんきょう委員会」委員長の横田比佐夫さん、稲城知的障がい者支援ネットワーク代表の川本安岐夫さん、稲城市青少年育成若葉台地区委員会委員長の高瀬徳子さんでした。

#### ●協働の成功事例 押立堀公園づくり

横田さんからは、市民と行政とによる協働事業の成功事例である「押立かんきょう委員会」の取り組みについての報告がありました。

まずパワーポイントや資料を用いて、押立堀公園やアカシア並木を整備した取り組みについ

ての説明がありました。それらを維持管理していくために平成13年12月に「押立かんきょう委員会」を設立したということでした。

整備するための材料等は市が提供していますが、作業はすべて自分たちで行ったそうです。また、大人だけでなく、花壇は4小の子どもたちが維持管理し、4中のボランティア部の生徒も作業に参加するなど、子どもたちを巻き込んでの活動になっているということでした。

#### ●初めから行政と一緒に ヘルプカードづくりを

川本さんからは、障がいのある人たちのための「ヘルプカード」づくりについての報告があ

▼左からパネリストの横田さん、川本さん、高瀬さん



りました。

ヘルプカードをつくる目的は①障がいのある人の緊急時連絡のため、②障がいのある人の理解促進のため、③障がいのある人を地域でゆるやかに見守るネットワークづくりのため、そのツールとして活用していきたいということでした。

取り組みの最初のきっかけは、市の障害福祉課と一緒に講座を開催したことで、その時に講師から「ヘルプカード」の話題が出たそうです。それ以来行政、事業者、当事者が分科会を作って具体化に向けた検討をし

てきており、そんなふうに通の認識をもって進めていることがいい結果につながっているということでした。

### ●願いは「長屋」の復活 居場所づくりの取り組み

高瀬さんからは、いろいろの人がふれあえる「つながりヨ」という居場所づくりの報告がありました。

毎週水曜日の午後、1ブラクの大会議室を開放してもらって行っているようですが、コンセプトは「年長者の方々と子ども達のふれ合い」だそうです。

「地域全体で子ども達を見守り育てていく」という若菜台青少年育のコンセプトに賛同いただいた、地域の年長者の皆さん、保護者の皆さんと一緒に立ち上げることができたそうで、願いは昔の「長屋」の復活にあるということでした。

ただし、まだ行政とのつながりはないので、これからの課題だというお話でした。

★ ★ ★

以上、3人の報告に対し、コーディネーターの安藤さんからは、①何が整えば、今後の活動が進めやすくなるのだろうか。②長い間続けるためにどのような工夫をしているのか。という質問がありました。

それに対しパネリストからはそれぞれ次のようなコメントがありました。

横田：①たまたま委員の中に市

の職員がいたため、比較的事業を進めやすかった。②会が発足して5年後に女性が参加してくれるようになり、おつまみやビールを持ってきてくれるようになった。飲み会やバーベキューなどをしていく中で、みんなが自由に発言できる場になった。楽しんで活動していると思う。

川本：①行政の人が入ると時間

がかかると思われる。しかし出来上がったものは後々の変更もなく結局は良いと思う。行政と市民は性格が違うので、その分時間もかかるが、協働して取り組むのは良いことだと思う。

高瀬：①行政の人に、まだ一度も活動を見に来てもらっていないが、これからは一緒に課題を考えていきたい。

## 第2部 グループ討議

パネルディスカッションのあと、6つのグループに分かれて協働についての話し合いを行いました。安藤さんから課せられたテーマは次の3つでした。

- ①協働するうえで何を大切にしたいか（行政側にとって、NPO側にとって）
- ②協働するにあたってどんな条件が必要か
- ③協働に期待することは何か  
以上に対してそれぞれのグループから沢山の意見が出されたので、その一部ですが紹介します。

### 【大切にしたいこと】

- \* 目的の共有であり、パートナーとして「対等」であること
- \* お互いの情報を公開し共有すること
- \* お互いの立場を尊重し、気軽に自由に話し合える雰囲気づくり



- \* 行政は協働のプロセス（話し合い）を大切にしていく
- \* NPOは要求だけでなく一緒にやる（汗を流す）という姿勢が大切
- \* 行政はNPOの力を理解・信頼し任せること

### 【協働するための条件】

- \* 両者が対等の立場で話し合える場づくり
- \* 両者が一緒に考え合えるシステムづくり
- \* 市内の様々な団体が意見交換や情報交換していける場づくり  
(4ページに続く)

- \* 行政は、市民と同じ目線に立ち、何が出来るかを考える意識が大切
- \* お互いの役割分担を明確にすること
- \* 市民の政策提案制度を作る
- \* 市民と行政を繋ぐ中間的な役割をする場所と人が必要

### 【協働に期待すること】

- \* 公平・平等を超えた、きめ細かなまちづくりが出来る
- \* 不足するところをお互いがカバーし合うことが出来る
- \* 市民の目線で行政運営が出来る
- \* 信頼関係が生まれ、共通の問題意識を持つことが出来、仲間意識が生まれる
- \* 地域の活性化や交流の活発化に繋がる

- \* まちづくりに多くの市民の意見が反映され、市民参加が可能となる
- \* 自分たちのまちは、自分たちで守り育てていくという意識が生まれる

### 安藤さんからのアドバイス

#### ～大事なことは プロセスづくり～

このグループ討議を受けて、最後に安藤さんから次のようなアドバイスがありました。

- お互い信頼し、分かり合えるためにどう時間をかけるか、そのプロセスが大切である。
- お互いの情報を、政策づくりの途中段階からオープンにすることが大事である。
- 行政ができない時は、なぜで



きないかを明確に伝え、市民もそれを受け止めなければいけない。その上で、制度や規則をどうしたら変えられるかを市民と一緒に考えることも必要である。

- 市民は提案する力をつけて欲しい。
- 協働するということは、行政の仕組みを変えることであり、その最終目標は「稲城に住んで良かったね」と言えるまちを作ることにある。

### 編集後記

1年が過ぎるのは早いもので、今年もあと1か月少々で終わろうとしています。  
振り返ってみると、やり残したことが多く、毎日の残る1年で

した。特にこのニュースレターを予定通り発行できなかったことが、一番の反省点です。  
来年度はその反省を生かして、定期発行をしたいと思います。  
(小林)

### 金曜サロンスペシャル【特別編】

## 新年の集いで今年の抱負を語り合う



1月13日(金)の午後6時から稲城市地域振興プラザで行われた新年の集いには40名近い参加があり、「今年の抱負」を語り合いました。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円